

11月 モニターレポート	担当出張所	毛馬出張所
担当区間	淀川下流左岸 JR 東海道本線上淀橋梁～大阪市守口市境界（左岸 8.8～14.6 km）	
モニター実施日時	令和2年11月18日（水） 10時30分頃から12時30分頃 令和2年11月26日（木） 13時00分頃から14時30分頃	
天候	令和2年11月18日（水） 晴 令和2年11月26日（木） 晴	

（見出し）

今月は、担当区間淀川岸付近とワンド周囲（川側）を中心にゴミの放置状況を確認しました。

1日目

担当区間のうち淀川河川公園長柄地区の下流端あたりから JR 上淀橋梁間の河川敷は工事中となっており、土手上及び河川敷は進めないで街側の土手下を JR 上淀橋梁に向かうが、どこからも土手及び河川敷に入る道は塞がれていた。

工事期間

令和2年10月16日から
令和4年2月下旬まで

土手下道路を跨ぎ土手から河川敷に入る歩道橋も入口に柵が設置され、入れないようにになっていた。



（淀川河川公園長柄地区から開始）

阪急千里線近くで長柄橋間の淀川端に広がる藪のようなところに多くのゴミが放置されていました。住居跡のような雰囲気もあり。



長柄地区の下流・淀川端に設けられた手すりの開始場所及びその延長上に放置されたゴミ。川に捨てられていた自転車のような物あり。なぜか地区広場の草地まで運び込まれた自転車あり。



(毛馬地区)

特に目立つゴミは見当たらず。

(城北河畔地区)

丁度、土手の草を重機で刈る作業が行われていた。

この地区はワンドが多くあり、釣り人用なのかこの地区のみゴミ箱が設置されていた。どのような周期で回収されているのか、周りにゴミがあふれている場所もあった。今日は水曜日であるが、ゴミが少ない方。



一番上流側にあるワンドの前（大阪工業大学前）に放置されたゴミの塊。
河川敷の緊急道路から近く目立つ場所。



大阪工業大学前でワンドを越えたあたりに広がる雑木林は、緊急道路の柵が見えなくなるほど草木が伸びており看板もほとんど見えないので少し刈ってみた。



時間も長くなったので折り返して帰る途中、土手の草を刈ったあたりを見ると、あちらこちらにゴミが散らかっていた。特に釣り人以外の人が休憩をよくする近辺に多く見かけられた。



一日目に拾ったゴミ（大量投棄以外の一般ゴミ）

意識して大量に投棄したゴミ以外は、前回同様思ったより多くはなかった。ただ、今回は深い草に紛れていたものが多くあったようであり、本来はもっと多くのゴミが集まっていたかもしれない。



2日目

淀川河川敷グラウンド辺りの藪から調査開始。



グラウンド北側の雑木林に網で囲われた敷地あり。



城北河畔地区ワンドの川側の雑木林入口のゴミ籠。本日は網がかけられていた。菅原城北大橋の下をくぐる。



菅原城北大橋上流側ワンドの奥に放置されていたゴミ。

ワンドの中をヌートリアらしき動物の泳ぐ姿が見受けられた。釣り人に聞くと二匹で住んでいる模様。



帰宅時に折り返す際、1日目に撮影した大量のゴミに更にゴミが加えられていた。
また、その奥のワンド周囲に入ったところ入口近くの木陰にゴミ袋の塊があり、また、大きなゴミ袋がぶら下げられた木もあった。



(気が付いたこと)

- ・ 大量の塊となっているゴミは意識的に外部から持ち込まれたものと思われる。
- ・ 今回はワンドの奥の雑木林を中心に見て回りましたが、河川敷をスポーツで利用する人や釣り人が落としたと思われるゴミはあまり多くはなかった。
- ・ 外部からの投棄を止める方法はないのか？ 通常の手立だけでは難しそう。

以上

(追記)

二日目に収集したゴミの写真を撮影し忘れました。残念。

(意見・感想・処置等)

11月レポートのご提出ありがとうございます。また、ゴミを収集いただきまして誠にありがとうございます。

長柄橋より下流の通行止めについては、引き続きご不便をおかけしております。

阪急千里線～長柄橋間の住居跡として報告いただいているのは、ホームレス（野宿生活者）の宿営です。「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」に基づき、関係自治体と連携をとりながら受け入れ施設や就業機会等の条件整備も含め、人権に配慮しながら慎重に対応しております。

ワンドのゴミ籠内のゴミは毎週月曜日に回収しておりますが、上流から流れてきたゴミを回収し一時保管するために設置しております。河川利用者のみなさまはゴミを持ち帰っていただきますようお願いします。

ヌートリアは、ワンドに生息している国の天然記念物「イタセンパラ」という魚が産卵する二枚貝や希少な植物を食べてしまうことが確認されています。そのため、12月頃にはイタセンパラの保全活動を行う関係各機関で構成されている「城北わんどイタセンパラ協議会」によって現地にヌートリアの捕獲檻が設置されます。現地で捕獲檻を見かけられた際は危険ですので、お手を触れないようお願いいたします。

それでは次回レポートもお待ちしております。

